

# 業界最小、4辺遮光型COBPフォトリフレクタ NJL5902Rのサンプル配布開始

## 鉛フリーリフロー半田付け温度260°C、2回に対応

新日本無線は、パッケージ側面全体を遮光型にした業界最小サイズの表面実装型COBPフォトリフレクタ「NJL5902R」を開発いたしました。また、動作暗電流（リーク電流）を低減し高S/N比を実現しています。

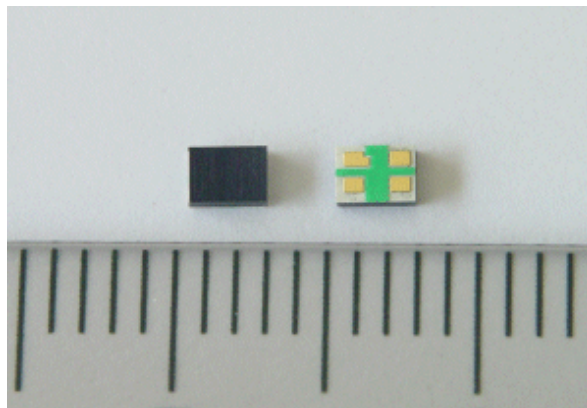
NJL5902Rは、パッケージ側面全体を覆う構造の表面実装型COBPフォトリフレクタとして業界最小サイズ2.7×1.9×0.8mmとなっています。また、従来COBPフォトリフレクタNJL5901Rの動作暗電流に対してNJL5902Rは、標準値の場合、1/10以下と低減しています。表面実装型COBP（Chip on board package）構造の他社製品と比較して動作暗電流値は業界最小（最大規格値比較）となっています。動作暗電流を低く抑えていますので高S/N比を実現しています。

これまで発光素子から出た光が、製品実装位置によっては近接した他の実装部品に当たり、反射した光の回り込みによって動作暗電流が大きくなる恐れがあった。今回のパッケージ構造の工夫によって、これらの現象が低減出来る。

また、信頼性に関しても、鉛フリーリフロー半田付けピーク温度260°Cを2回実施後の温度サイクル試験（-40°C ~ +100°C）で500サイクルをかけても十分な特性が得られています。

NJL5902Rの主な用途は、光ピックアップヘッドの内周検出、プリンタ・光ディスク駆動装置のモータ回転検出、携帯電話・デジタルスチルカメラのオートフォーカスなどのレンズ位置検出、ロボットなどのアクチュエータ動作検出、VCR・オーディオ機器の各種検出、カメラのフィルム検出用途などに適しています。今回の高耐久性の特長から、信頼性が要求されるCARオーディオ機器での用途に最適です。

（2004年06月10日）



### <製品の機能および特徴の概要>

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ・鉛フリーリフロー半田付けが可能  | リフロー半田付け温度260°C、2回 |
| ・小型リードレス表面実装パッケージ | 2.7×1.9×0.8mm      |
| ・高出力電流            | 140μA typ.         |
| ・動作暗電流            | 0.3μA max.         |
| ・温度サイクルに高耐久性      |                    |

### <生産予定/サンプル価格>

量産開始予定：配布中

サンプル価格：@¥80